

次号予告

- 特集 新しいリハビリテーション医療器具
 トレッドミルによる循環機能の評価
 ライフプランニングセンター 道場 信孝
 アイソカイネティックエクササイズの
 理論と実際..... 高知医療学院 嶋田 智明
 作業療法におけるおり機の活用..... 九州労災病院 高橋 博子・他
 レスピレーターの原理と呼吸器疾患の
 リハビリテーションにおける応用..... 養育院付属病院 福島 保喜
 <随想> 安価に出来る油圧式リフト..... 甲州中央温泉病院 斎藤 延男
 油圧式と電子式アイソカイネティック
 エクササイザーの利点と欠点..... 労災義肢センター 土屋 和夫
 電気炉の種類と選び方..... 高茶屋病院 大橋 博
 私が工夫した治療器具..... 多摩全生園 青木 真由美
 “ 慶応大 月が瀬リハセンター 澤 俊二
 “ 神奈川リハセンター 長尾 哲男
 “ 兵庫リハセンター 中村 春基
 人間と器具..... わらび診療所 荻島 秀男
 講座 失行症・失認症Ⅴ 各論(2)..... 都老人研 鎌倉 矩子
 てんかんとリハビリテーション 3. てんかん児・
 者のリハビリテーション..... 弘前大学・精神医学 福島 裕
 研究と報告 リハビリテーション機器の普及に関する
 問題点の検討..... 鉄道弘済会 網野 智・他

編集後記

長い間、企画の意向をもってやってやっと実現した「精神神経症と理学療法・作業療法」の特集号である。氷山の水面上の姿(症状)と水面下の本体(原因)が、かくも違うものかと驚かされる疾病でもある。

理論と具体例の稿に分け、特に後者に多くの執筆者をお願いした理由は、読者に心のメカニズムをまるでレントゲンを通すように観察し、原因の可能性を数々思い浮かべ、不適正な可能性を(今流行しているインベーダーゲームのように)除去して最も射た原因をみつける練習をして頂けたら、との念願も含まれているのである。

精神病の中にはまだまだ疾病論の統一されていらないものもあるが、比較的精神神経症は理解し易い方であり、原因が判明したらそれに対する治療法を即刻とれるし、本当の原因を見つける瞬間に近づく過程での対象者の洞察力がまた重要な治癒へのポイントとなる。

トともなる。

理学療法室で、もし何となく治りにくい、表情や言語表現がしっくりしない、と感じられたら直ちに他のPTやOTに一声掛けて、もし精神科医がおられたら相談されるようにおすすめしたい。

一見、何でも理解している様子を示しながら自らは心を苦しめる鎖から解放できずにいる精神神経症の患者を理解していく中で、PTやOTは失語症の患者や乳幼児の言葉のない対象の心の動きを測る技術を持つようになると信じている。

佐藤先生、池田先生、内村先生、石谷先生、前田先生、佐々木先生、金子先生に学ぶことの多い特集号になったことを深く感謝している。幸いこの号には<講座>「てんかん」と「失行症・失認症」が組まれているので、3者の比較をしながら読んで頂くと興味が一層増すのではないかと思います。ながら、お手許へ届ける次第である。

(鈴木 明子)

<編集顧問>

天児 民和
九州労災病院長
五味 重春
筑波大学心身障害学系教授
砂原 茂一
国立療養所東京病院名誉院長

津山 直一
東京大学教授・整形外科
水野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上田 敏
東大リハビリ部
荻島 秀男
わらび診療所
大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター
鈴木 明子
北海道庁
寺山 久美子
都心身障害者センター
奈良 勲
金沢大学医療技術短大
福屋 靖子
筑波大学
松村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

大橋 博
大丸 幸
金子 翼
鎌倉 矩子
紀伊 克昌
駒沢 治夫
佐藤 章
佐藤 馨
嶋田 智明
高橋 正明
武富 由雄
谷岡 淳
富岡 詔子
中屋 久長
藤沢 しげ子
松本 妙子
丸谷 隆明
矢谷 令子
山下 隆昭
和才 嘉昭

(担当 細田・西塚)